

1 現代社会とわたしたち

1 グローバル化する社会

(1) **グローバル化** 情報通信技術や輸送技術の発達により、国家や地域の枠組みをこえて、地球規模で一体化が進んでいる。

① **国際分業** わたしたちのくらしは、自国のみでは存在できない。世界の国々とのあいだでの、貿易や技術、文化の交流によって成り立っている。それぞれの国や地域で、競争力のある産業に力を入れ輸出し、競争力のないものは輸入する。国際競争が進んだ上で諸外国と相互に支えあう**国際分業**が行われている。また、青年海外協力隊の派遣など、互いの協力が大切である。

② **国際競争** グローバル化が進むなか、よりよい商品、より安い商品をめざして、国際間の競争も激しくなっている。

(2) **多文化共生社会** さまざまな文化を持つ人が1つの国でくらすいくためには、文化のちがいを尊重することが必要である。

2 少子高齢社会

(1) **家族形態の変化** 日本では、かつては祖父母など、数世代が同居する大家族が中心であったが、高度経済成長期には、大家族から**核家族**世帯が中心となる。

(2) 少子高齢化

① **少子化** 女性1人あたりの子どもの出生数が減少。女性の社会進出、教育費の負担の増加、将来の社会への不安などが原因。**少子化**が進むと、労働力人口が減少するという問題がおこる。

② **高齢化** 65歳以上の人口が全人口に占める割合が7%以上の社会を高齢化社会、14%以上の社会を高齢社会という。**高齢化**が進むと社会保障のありかたに影響が出る。

(3) これからの社会

① **少子化社会対策基本法** 2003年、子育て支援の法整備が進む。国や地域、企業などで、子育てのための環境充実をめざす。

② **育児・介護休業法** 2009年、子育てや介護のための休暇制度が改正された。

③ **持続可能な社会** 現在の世代も将来の世代も幸福な社会をめざすために積極的な社会参画の必要性。

3 情報社会

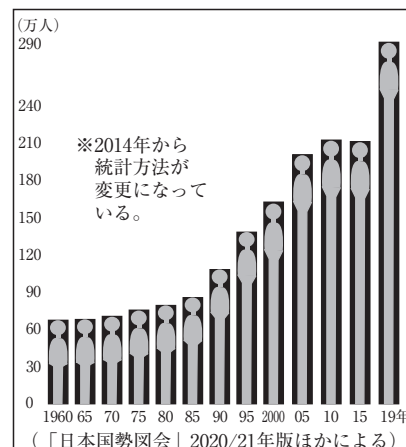
(1) **情報通信技術の発展** 情報は、新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などのマスメディアから得ることができる。現代では、インターネットの普及によって、大量の情報取得が可能に。人工知能(AI)が進化。

(2) **社会の変化** 情報通信技術の発達により、わたしたちのくらしは大きく変化した。メディアリテラシー、情報モラルが重要に。

① **利点** インターネットを使って、さまざまな人との通信、オンライン・ショッピング、金融機関との取り引きなどが可能になった。

② **問題点** 有害な情報の氾濫、個人情報の流出、インターネットによるトラブルや犯罪の増加など。

▶在留外国人数の推移

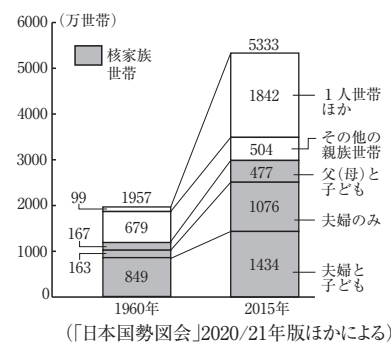


くわしく学ぼう

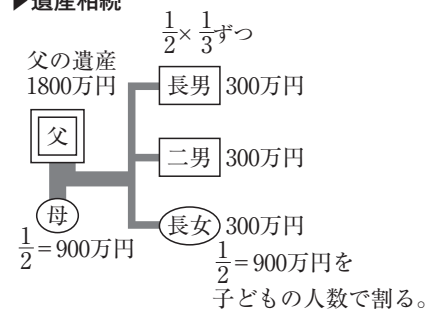
①高度経済成長

1950年代中ごろから1973年までの約20年間続いた急速な日本経済の成長。

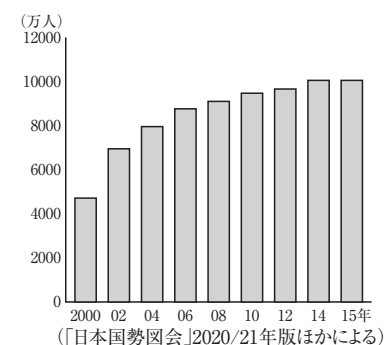
▶家族形態の変化



▶遺産相続



▶日本のインターネット利用者数の推移 (契約者数)



4 現代社会と文化

(1) **文化 科学・宗教・芸術**など。人間の手でつくり上げた生活様式や社会のしくみなどで、世界には、国や民族によってさまざまな豊かな文化が広がっている。

- ① **科学** 科学は、人間の生活を便利で豊かにする。日本では、産業ロボット、クローン技術、宇宙ステーションなど、さまざまな科学技術が発達している。科学技術は、常に海外との競争にさらされている。
- ② **宗教** 神や仏などへの信仰。世界の三大宗教は、キリスト教、イスラム教、仏教。日本では、神道、仏教、キリスト教などさまざまな宗教が信仰されている。
- ③ **芸術** 美術や演劇、音楽など。人が豊かな生活をおくる上で大切な役割を果たしている。

(2) **伝統文化**

- ① **伝統文化** 長い間、人々のあいだで受けつがれてきた文化。日本では、能、歌舞伎、茶道、華道など。冠婚葬祭、年中行事など。
- ② **日本の年中行事** 毎年、同じ時期に行われる行事。地域によって特色がある。
- ③ **文化財** 文化的景観や伝統的建造物群など。**文化財**は文化財保護法によって保存に努められている。文化財は観光資源として活用されている。
- ④ **伝統工芸品** 各地に伝統工芸品が伝承されている。大館曲げわっぱ(大館市)、南部鉄器(盛岡市)、将棋駒(天童市)、輪島塗(輪島市)、京友禅(京都市)、萩焼(萩市)、有田焼(佐賀県有田町)など。

(3) **文化の多様性** 日本には各地域によって特色のあるさまざまな文化がある。多文化共生のために、ダイバーシティ(多様性)を尊重する考えが広まる。

- ① **琉球の文化** 沖縄や奄美群島の文化。
- ② **アイヌの文化** 北海道や千島列島で受けつがれた文化。
- ③ **日本の中の外国文化** 日本には多くの外国人が生活をしている。それらの人々は自国の文化を受けついでいる。

5 **社会集団** 人間は、家族や学校、職場など**社会集団**のなかで生きている、社会的存在であるといわれる。社会集団のなかでは、互いの個性や考え方を尊重しあい、ルールを守ることが必要。

- (1) **契約と義務** わたしたちの生活のなかには、物の貸し借り、待ち合わせ、品物の購入などさまざまな契約がある。契約を結ぶと、契約を守る**義務**を負う。契約は互いの信頼と**責任**により成立する。
- (2) **対立と合意** 多くの人がからす世の中では、それぞれが意見をもち考え方が対立することがある。対立がおきると、話し合いによって**合意**をめざそうとする。
- (3) **効率と公正** 対立がおきたとき、合意に向かうための判断基準に**効率**と**公正**がある。最大の利益を得られるか(**効率**)、等しく利益を得られるか(**公正**)が判断の基準になる。

②世界の三大宗教

○キリスト教

1世紀の初めに、イエス・キリストが、西アジアのパレスチナ地方で開いた教えを信仰する。神への愛と隣人愛を説く。経典は聖書。カトリック・プロテスタント・正教会派などに分かれている。世界各地に広まった。

○イスラム教

7世紀初めに、アラビア半島でムハンマドが開いた教え。唯一神アッラーを信仰する。聖地はメッカのカーバ神殿。経典はコーラン。酒や豚肉は口にせず、1日5回、メッカの方に向かって礼拝、1年に約1か月の断食。

○仏教

紀元前6世紀ごろに、インドで釈迦によって説かれた教え。アジア州に広がった。日本には、紀元6世紀ごろ伝わり、浄土宗や浄土真宗、曹洞宗や臨済宗、日蓮宗などがある。

③年中行事

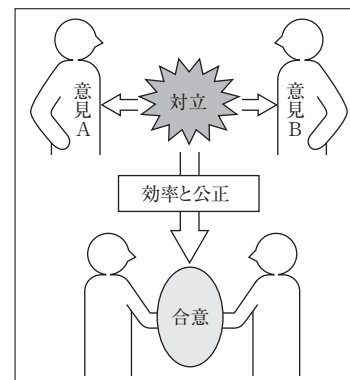
年中行事は、地域によってさまざまなものがある。

1月	初詣
2月	節分・バレンタイン
3月	ひな祭り・彼岸
4月	花見・花祭り
5月	端午の節句
7月	七夕
8月	盆
9月	月見・彼岸
10月	秋祭り
11月	七五三
12月	クリスマス

④ダイバーシティ(多様性)

多様な人材を活用しようとする考え方。経営の方針として、障がいのある人を雇用しようとする企業もある。

▶効率と公正

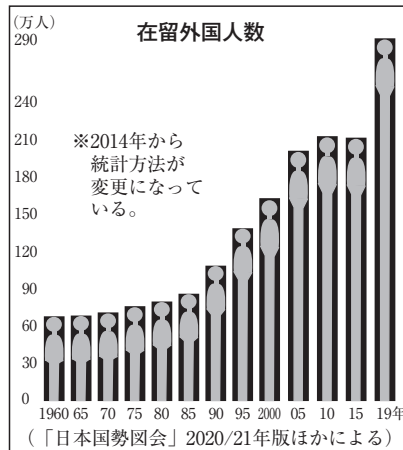


基本問題

1 グローバル化する社会

右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 2019年の在留外国人数は、約何万人か。
- (2) 2019年の在留外国人数は、1960年の約何倍になっているか。四捨五入して整数で書け。
- (3) 現代のように、国家間で人々の移動が増大することによって形成された、さまざまな人や文化が共存する社会のことを何というか。
- (4) (3)のような社会ではともに生きる社会をつくることが求められる。それはどのような社会か。簡単に書け。
- (5) 地球規模で、政治や経済、文化の一体化が進むことを何というか。



1

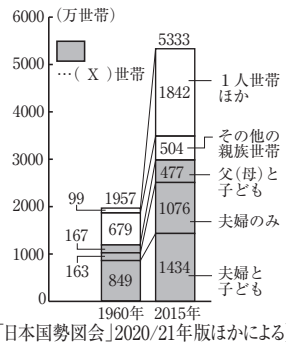
- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

2 少子高齢社会

次の問いに答えなさい。

- (1) 右のグラフを見て、次の問いに答えよ。
 - ① グラフの中の(X)にあてはまる家族形態を何というか。
 - ② 2015年に、(X)世帯は全世帯のおよそ何割を占めているか。
 - ③ 1960年から2015年にかけて、最も大きく増加しているのはどんな世帯か。グラフ中の語句で書け。
- (2) 右の資料を見て、次の問いに答えよ。 **〈富山〉**

家族類型別世帯数の推移

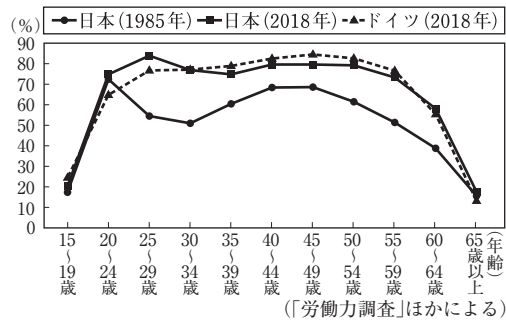


2

- (1) ①
- ②
- ③
- (2) ①
- ②

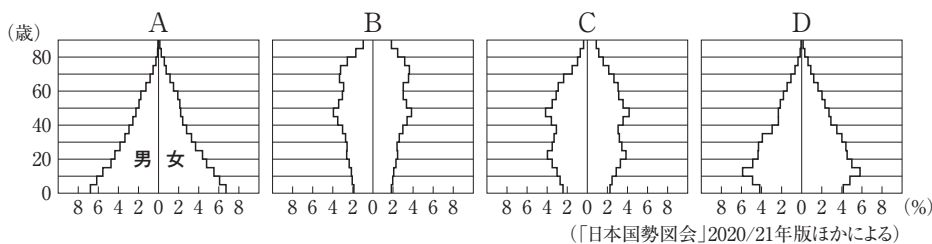
- ① 1985年と2018年の日本の働く女性について、年齢別にみてどのように変化しているか、簡単に書け。
- ② 2018年の日本とドイツの年齢別女性の働いている割合について、どのような違いがみられるか、簡単に書け。

資料 年齢別女性の働いている割合



- (3) → → →

- (3) 次の資料A～Dは、それぞれ1935年、1960年、1995年、2019年のいずれかの日本の年齢階級別人口構成を表したものである。A～Dを年代の古い順に並べよ。

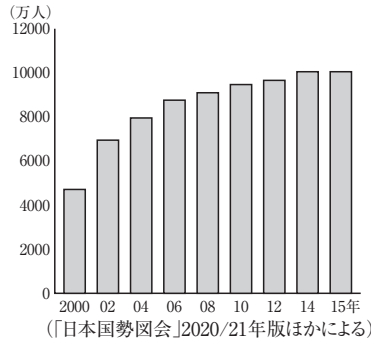


3 情報社会

次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

20世紀は、^①新聞・雑誌・ラジオ・テレビなどの□□が、急速に発達した世紀であった。情報化社会とよばれる現代では、情報は、読む情報に加えて、聞く情報、そして見る情報と多様に発展していった。これらの情報は一方向的なものが多かったが、1990年代に入ってから急速に、^②一方向的ではないコミュニケーションの手段が普及してきた。

- (1) □□にあてはまる語句を書け。
- (2) 下線部^①のうち、リアルタイムで世界の情報が手に入るという利点があり、わたしたちの生活に最も大きな影響をおよぼしたのはどれか。
- (3) 下線部^②の代表例である、コンピューターのネットワークを用いて、世界中の情報を収集したり交換したりする情報手段を何というか。
- (4) 右のグラフは、(3)の利用者数の変化を示している。(3)の利用者数は、2000年から2015年までどのように変化しているか。



3

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____

4 社会集団

次の問いに答えなさい。

- (1) 右の書面はあるものの貸し借りの取り決めを記したものである。書面中の□□にあてはまる語句を書け。
- (2) ものごとの採決のしかたには、全員一致のほか、より多くの賛成を得られた意見に決めるしかたがある。これを何というか。
- (3) (2)で採決した場合、どのような短所があるか、簡単に書け。

使用貸借□□書

貸主 _____ (以下「甲」という。)と
借主 _____ (以下「乙」という。)は、
甲が所有する△△△△について、以下の
条件で使用貸借□□を合意した。

第1条 ○○○
第2条 ○○○

年 月 日

貸主 _____ 印
借主 _____ 印

4

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____

入試によくでる 重要公民用語

- ① 地球規模で、政治や経済、文化の一体化が進んでいることを何というか。 []
- ② 発展途上国の発展のために、技術や才能を生かして現地で協力する若者の国際協力機構を何というか。 []
- ③ 出生率が低下し、平均寿命がのびた、現在の日本のような社会を何というか。 []
- ④ 夫婦だけ、あるいは親と未婚の子どもだけからなる世帯を何というか。 []
- ⑤ 2003年に制定された、少子化を食い止めるため、子育てを支援するための法律を何というか。 []
- ⑥ 2009年に改正された、子育てや介護のための休暇制度についての法律を何というか。 []
- ⑦ 現代のように、非常にはやく大量の情報が生産され、利用されている社会のことを何というか。 []
- ⑧ 広く世界にはりめぐらされた、コンピューター通信のネットワークを何というか。 []
- ⑨ コンピューターにもたせた、人間のように自ら学習する機能を何というか。 []
- ⑩ 日本の各地で、毎年、同じ時期に行われる行事を何というか。 []
- ⑪ 日本の伝統文化にはどのようなものがあるか。 []

練習問題

- **1** グローバル化に関して、次のⅠの表は、中国、韓国、アメリカ、香港、タイ、台湾を訪れた日本人旅行者数の推移を示したものである。Ⅱの表は、それらの国・地域から日本を訪れた外国人旅行者数の推移を示したものである。ⅠやⅡの表について述べた文として正しいものを、あとのア～エの中から選び、その記号を書け。

(愛知改)

Ⅰ 海外を訪れた日本人旅行者数の推移 (単位 千人)

国・地域名	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
中国	3317	3731	3658	3518	2878	2718
韓国	3053	3023	3289	3519	2748	2280
アメリカ	2918	3386	3250	3698	3730	3579
香港	1204	1317	1284	1255	1057	1079
タイ	1004	980	1103	1341	1516	1265
台湾	1001	1053	1243	1393	1438	1635

Ⅱ 日本を訪れた外国人旅行者数の推移 (単位 千人)

国・地域名	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
中国	1006	1413	1043	1425	1314	2409
韓国	1587	2440	1658	2043	2456	2755
アメリカ	700	727	566	717	799	892
香港	450	509	365	482	746	926
タイ	178	215	145	261	454	658
台湾	1024	1268	994	1466	2211	2830

(Ⅰ、Ⅱともに「観光白書 平成28年版」をもとに作成)

- ア アメリカを訪れた日本人旅行者数とアメリカから日本を訪れた外国人旅行者数は、いずれも2009年から2014年までの間、毎年増え続けている。
- イ 韓国から日本を訪れた外国人旅行者数は、2009年から2014年までのいずれの年においても、それぞれの国・地域から日本を訪れた外国人旅行者数の中で最も多い。
- ウ 2014年にそれぞれの国・地域を訪れた日本人旅行者数は、いずれも2009年にその国・地域を訪れた日本人旅行者数より少ない。
- エ 2014年にそれぞれの国・地域から日本を訪れた外国人旅行者数は、いずれも2009年から2014年までの6年間で最も多い。 []

- **2** インターネットの利用について述べた文として誤っているものを、次のア～エの中から選び、その記号を書け。 (島根)

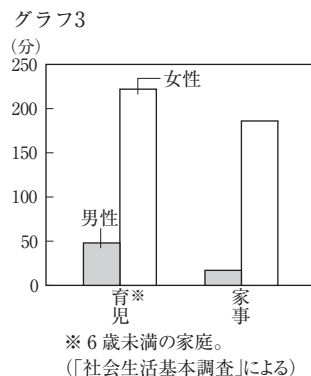
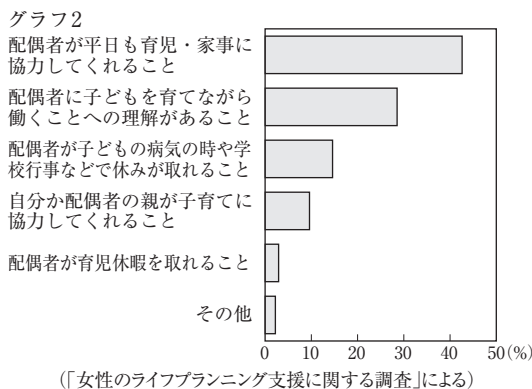
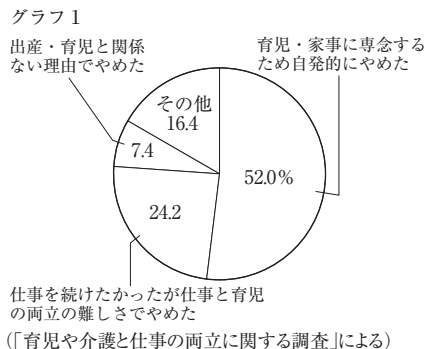
- ア 海外の情報も手軽に入手できる。
- イ まちがった情報がないので安心して利用できる。
- ウ 氏名や生年月日などの個人情報が流出するおそれがある。
- エ コンピューターウイルスに感染する危険性がある。 []

- **3** 一般に、議決に際して多数決の原理がとられており、決定したことについては少数の意見の人も多数の意見に従うことになる。多数決の原理を民主的な議決方法として機能させるためには、結論を出す前に多数の意見の人はどのようなことに配慮する必要があるか、「少数」という言葉を使い、簡単に書け。 (北海道)

[]

4 現代社会において、女性が働きやすい社会を実現するためにはまだ多くの課題がある。下のグラフ1は就学前の子どもがいる女性が仕事をやめた理由についての調査結果を示している。また、下のグラフ2は、30～40代の女性が、子育てをしながら働く場合に、家族の状況として必要と回答したこととその割合を、下のグラフ3は、就学前の子どもがいる男性および女性の1日あたり育児と家事の時間を示している。グラフ1から読み取れる、女性が働きやすい社会を実現する上での問題点を、グラフ2とグラフ3からわかることとあわせて60字程度で書け。

(静岡)



5 次は、春夫さんが戦後の社会変化について、祖母に話を聞いたときの会話の一部である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

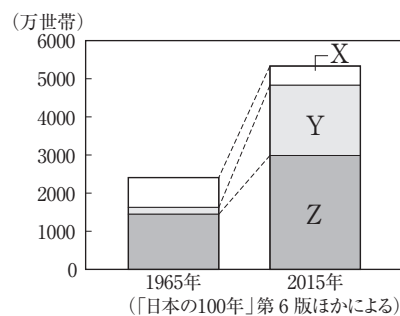
(熊本)

春夫：おばあちゃんの若いときと比べて、社会で大きく変わったことにどんなことがあるの？

祖母：そうね、①家族のかたちや②お年寄りの割合かな。それから、女性の働く環境もだんだん変わってきたわね。

春夫：いろんなことが変わったんだね。

□(1) 下線部①について、右の図は、日本の世帯数と世帯の構成について、1965年と2015年を比較したものであり、X、Y、Zは、核家族世帯、単独(1人)世帯、その他の世帯のいずれかである。図のX、Y、Zのうち、割合が最も増加しているのは(a)で、これはb(ア 核家族イ 単独)世帯である。(a)にあてはまる世帯を、X、Y、Zから1つ選び、記号を書け。また、bの()の中から適当なものを1つ選び、その記号を書け。



a [] b []

□(2) 下線部②について、下の表は、日本の総人口に占める老年人口(65歳以上)の割合(%)の推移を示したものである。下の表をもとに、右の老年人口の割合のグラフを完成させよ。また、表のように老年人口の割合が増加している理由を書け。

表

1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
7.1%	7.9%	9.1%	10.3%	12.1%	14.6%	17.4%	20.2%	23.0%	26.6%

(「日本の100年」第6版ほかによる)

